

令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告

1 組織

- (1) 東京都立王子総合高等学校 学校運営連絡協議会（全日制）
- (2) 事務局 副校長、総務・国際部担当（事務局長） 計2名
- (3) 内部委員
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務研究部主任、生徒部主任、キャリアデザイン部主任、総務国際部主任、3年次主任、2年次主任、1年次主任）
計10名
- (4) 協議委員
大正大学副学長、公益財団法人数学オリンピック財団事務局長、北区教育員会教育振興部教育指導課長、北区立滝野川紅葉中学校長、北区立滝野川もみじ小学校長、王子総合高校PTA会長、 計6名

2 令和6年度 学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1回～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和6年6月28日（金）内部委員8名、協議委員8名
校長挨拶、協議委員委嘱、委員紹介、学校運営連絡協議会主旨説明、評価委員会趣旨説明、本校の現状と課題等の説明、意見交換、事務連絡
 - 第2回 令和6年11月21日（木）内部委員8名、協議委員2名
校長挨拶、本校の現状と課題等の説明、令和5年度学校評価アンケートの説明、意見交換、事務連絡
 - 第3回 令和7年2月12日（水）内部委員8名、協議委員4名
校長挨拶、本校の現状と課題等の説明、令和6年度学校評価アンケート結果の説明、意見交換、事務連絡
- (2) 評価委員会（第1回～2回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和6年11月21日（木）内部委員3名、協議委員2名
学校評価の基本方針の確認等、学校評価の観点・項目、内容の検討、調査範囲、実施時期の検討等
 - 第2回 令和6年2月12日（水）内部委員3名、協議委員2名
アンケートの集計結果の分析・考察、課題の整理等

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
学校経営計画の「教育活動の目標と方策」に基づき、学校運営連絡協議会の評価内容としてふさわしい項目について実施する。
- (2) アンケート調査（Forms）の実施時期・対象・規模

実施時期	令和6年12月18日～令和7年1月10日		
対象	全校生徒	688人	回答数： 667人
	保護者全員	688人	回収数： 356人
	教職員	47人	回収数： 47人
	地域	50か所	回収数： 18か所

(3) 主な評価項目

「学校満足度」「学校関心度」「学校経営」「キャリア教育」「進路指導」「生活指導」「生徒理解」「自律活動」「特別活動」「生活充実度」「ICTの活用」「家庭への連絡」「広報活動」「環境活動」「いじめ防止」「体罰防止」「施設充実度」「企画室対応」「ライフ・ワーク・バランス」

(4) 評価結果の概要

本年度は新たに地域へのアンケートを実施した。回収率は 36%であったが地域からどのようにみられているのかというがわかり、地域とのかかわり方に関して再度確認できた。

生徒、保護者、教職員のアンケートでは昨年度まで 5 択の中から「どちらでもない」をなくし、4 択にした。そのため肯定的な意見が比較的増減率が大きくなった。

(5) 評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言）

【生徒結果・考察】

(1) 21 問中、肯定意見 90%以上が 10 問、80%8 問、それ以下が 3 問（相談、家庭学習、Teams）(2) 今回の肯定意見平均 86%（中間 86%）、否定意見平均 14%（中間 14%）、中間調査とほぼ同率。(3) 学校としての SNS・HP 配信、いじめ対応、生徒の Teams・スタサプ活用、行事・部活動において、中間調査より満足度合いを高めている。(4) 入学してよかった、生徒指導、進路指導は中間調査より微減したものの、肯定意見 90%以上を保っている。(5) 学校が楽しい、生徒の家庭学習、登校意欲、教職員の相談対応・生徒理解について、否定意見が 2 割を超えているため、改善検討と個別対応が求められる。(6) 特に「まったく当てはまらない」と回答した生徒の様子を見守る必要がある。自由意見すべて要検討。

【保護者結果・考察】

(1) 保護者回答数が、R4:198 人、R5:193 人、今年度 R6:356 人と 163 名増加したが、対象全保護者数 688 名の 52%とようやく過半数であるため、さらなる目標は 8 割である。(2) 今回の肯定意見の平均 88%（生徒 86%）と生徒より 2%高く、否定意見平均 12%（生徒 14%）と生徒より 2%低い。(3) 21 問中、肯定意見 90%以上が 11 問、80%8 問、それ以下が 2 問（家庭学習、家庭連絡）(4) 「子供を王子総合に入学させて良かった」96%（生徒 90%）と生徒より 6%高く、「学校に行くのが楽しいようだ」92%（生徒 80%）と生徒より 8%高く、乖離が見られる。(5) 「家庭学習時間の確保、両立」59%（生徒 68%）と生徒より 9%低く、「家庭連絡」65%（生徒 82%）と、生徒より 17%低く、大きな乖離が見られる。家庭と連携し実態把握する必要がある。(6) 「わからない」という選択肢がなかったため、来年から設置を検討する。(7) 特に「まったく当てはまらない」と回答した保護者との連携を深める。自由意見すべて要検討。

【教職員結果・考察】

(1) 昨年同様正教員 47 名の回答数との比較とした。(2) 今回の肯定意見の平均 88%（生徒 86%、保護者 88%）と生徒より 2%高く、否定意見平均 12%（生徒 14%）と生徒より 2%低い。(3) 21 問中、肯定意見 90%以上が 11 問、80%6 問、それ以下が 4 問（学校の働き方改革、個人の働き方改革、保護者対応、募集対策）(4) 昨年より「管理職のマネジメント」7%減、「生徒の悩みを聞く」6%減と下げ率が大きい。(5) 昨年より「清掃活動」26%、「いじめ対応」10%、「都の施策 8%」、「保護者対応」8%と伸び率が大きい。(6) 生徒、保護者との比較では。「働き方改革」21%、「ノーチャイム」9%、「いじめ対策」8%、「悩み相談」14%、「生徒の活動」6%、「教員の服務」5%と乖離が見られた。(7) 特に「あまり当てはまらない」117 回答と自由意見について要検討していく。

【地域結果・考察】

(1) 今年度から、学運協、防推協以外に交流のあった地域団体、近隣商店、近隣中学校、など、学校通信を配布している地域団体 50 所に回答を依頼したが、回収率は低かった。

(2) 今回の肯定意見の平均 94%、否定意見平均 6%であった。(3) 設問数も厳選し 5 問とし、広く自由意見を依頼した結果、自由意見回答率が 94%となった。(4) 自由意見をよく検討し、柔軟かつスピーディに対応する。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価への反映）

- (1) 学校評価アンケートの結果から、概ね良い評価を得られてはいる。この結果に満足せず、引き続き、学校改善に向けて努力していく。
- (2) 総合学科高校としての取組や成果（キャリア教育等）について期待値が高いことが分かった。成果を確実に反映していくことが必要である。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

- (1) 学校運営
 - ・学校・家庭・地域との連携を深めていき、ニーズに応えられるよう学校改善に努める。
 - ・教職員の情報共有の徹底と課題への組織的な取組みを迅速に進める。
- (2) 学習指導
 - ・家庭学習時間の確保と両立について工夫をする。
- (3) 進路指導
 - ・総合学科のキャリア教育の理解を進める、総合学科としての強みを生かし、より一層の充実を図る。
- (4) 生活指導
 - ・規範意識の醸成に関して、主体的な取り組みになるよう指導を工夫する。
- (5) 特別活動・部活動
 - ・各行事について検討し、生徒の主体的な取り組みになるよう工夫する。
- (6) 健康づくり
 - ・心身共に健全な学校生活を送ることができる学校づくりを推進する。
 - ・いじめの組織的な未然防止に努める。
- (7) 募集・広報活動
 - ・募集活動の内容の検証を行い、さらなる募集活動の工夫を図る。
 - ・組織的な募集、広報活動の充実を図る。本校への理解を深め、興味を持ってもらえるような活動の工夫。

6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果 実績なし

7 評価

- ・評価としては、非常によく頑張っていると判断している。
- ・内部的にかなり良い学校経営能力があると判断している。
- ・社会状況の変化に伴って生活指導の在り方も柔軟に対応していく必要がある。
- ・総合学科の良さ、王子総合高等学校の良さを伝えていってほしい。